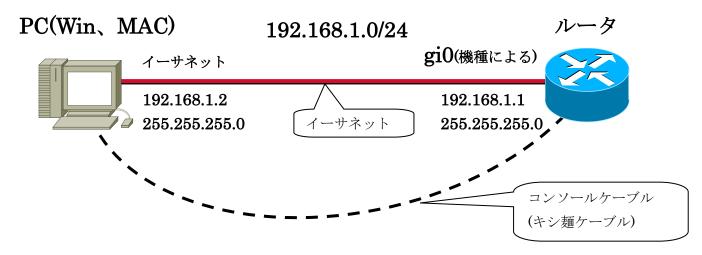
Cisco を使う為の前準備

IH の皆さんは昨年河田先生の授業で Cisco ルータや SW の設定を習いました。今日からはもう一度 Cisco の学習をし、年明けには総合学習として Linux と Cisco の連携他を行いたいと思います。



昨年も配線したと思いますが、基本接続は上記の様な感じですね。

(1)実機での練習の準備(今回は省略)

●コンソールケーブルに関して

MAC の方: 黒色の「USB-RJ 変換ケーブル」 (ケーブルは1本)

※ドライバー無しで使えるハズです。ただ、MAC はこのケーブルには相性が有って認識しない時は別ケーブルに変えてみましょう!

Windows の方: 青色のケーブルと銀色の USB 変換ケーブル(赤いタグ付きの方)

※配布プログラムの「USB 変換ドライバー(10 月 30 日)(今回は必要なし)」をインストールして下さい。
※MAC の方用の黒色ケーブルが余っているのなら Windows でも使用できます。ただ、<u>青色ケーブルは MAC で</u>
認識しないので黒色ケーブルは MAC の方優先でお願いします。

●ターミナルソフトについて

Windows 用:teraterm-4.105.exe

MAC用:標準のターミナルがダメなら「iTerm2-3_3_12.zip」(素材サーバ)を使ってみて下さい

※MAC の方への参考ページ

https://temlog.net/cisco-router-consoleconnection/

Cisco ルーターへ Mac ターミナルでコンソール接続するためのケーブリングから初期起動まで

Cisco Packet

Tracer

(2) Cisco シミュレータ Packet Tracer の準備

手元に Cisco ルータや SW が無くても学習できるように Cisco のシミュレータ(Packet Tracer)をインストールします。

Windows 用: PacketTracer-7.3.1-win64-setup.exe

MAC 用: PacketTracer731_mac.dmg

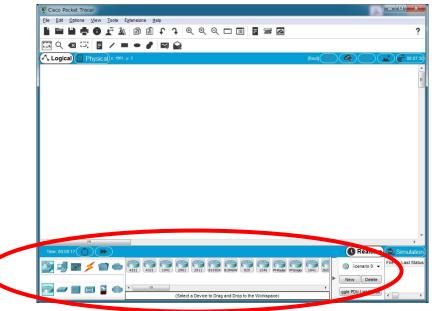
をそれぞれ用意していますので、各自インストールして下さい。

※基本「I agree.」で大丈夫です。

【重要!】Cisco Packet Tracer の起動時は必ずLAN ケーブルを抜くこと! (認証を避ける為) 英語版ですが HAL の皆さんなら大丈夫でしょう!使い方は前で見せますが、各自色々触ってマスターして下さい♪

ショートカットを起動すると以下の画面が出てきます





画面の下に各種機器(ルータ、SW、PC、ケーブル 他)があります

(注意!)もし、LANに接続したまま起動すると・・・



認証画面がでます!

Cisco のアカウントを持っていれば「サインアップ」すれば良いのですが無いですね。仕方が無いので「Continue ~」を選んでしまいそうですが、絶対にダメ!!これを選ぶと3回しか使えなくなります!

なので、右上の「×」をクリック



「OK」か「×」のどちらを選んでも「Cisco Packet Tracer」は終了・・・起動しません!

従って、「Cisco Packet Tracer」を起動する時は必ずインターネット接続を切って(LAN ケーブルを抜く、無線を切る)ください!

※起動した後はインターネットに接続しても大丈夫です。

以上!